

真のタックスパイヤーをめざす

# UENO

# 謹賀新年



長澤会長

三森署長

# 戌



NO.482



公益社団法人  
上野法人会

<http://www.uenohoujin.or.jp/>

# 新春対談

新年を迎えて

**司会** 明けましておめでとうございます。

**署長・会長** おめでとうございます。

**司会** 本日の司会を務めさせていただきます広報副委員長の中立です。宜しくお願いいたします。はじめに新年を迎えまして昨年印象に残った出来事はございましたでしょうか。

**署長** やはり何と言っても地元・上野動物園のジャイアントパンダの赤ちゃん「シャンシャン」が誕生したことですね。昨年12月に公開もされ、上野の街はますます賑やかになりましたね。海外に目を向けると、トランプ氏の大統領就任が大きな話題になりました。また、国内では将棋の藤井四段の29連勝、陸上の桐生選手の日本勢初の9秒台、日本ハムの大谷選手の大リーグ入りなど様々なことが目に浮かびます。それから個人的には東京上野税務署に勤務できたことですね。

**会長** 私も署長と同じでして、特に「シャンシャン」の誕生には感慨深いものがあります。一昨年の国立西洋美術館の世界遺産登録に次ぐ、ビッグニュースで上野はますます活気づいています。法人会としても、パンダに関連する事業を何か企画できたらいいなと考えています。



**司会** 上野動物園には秋篠宮家のご家族もたびたび訪れると聞いております。さて、今年の干支は「戌年」ですが、「戌年」にはどのようなイメージをお持ちですか。

**署長** 犬は人との付き合いも長く、親しみやすい、忠実な動物と言うイメージがあります。日本には古くから、妊娠5ヶ月目に入った最初の戌の日に、妊婦さんが腹帯を巻いて安産祈願のお参りをする風習があります。縁起の良い動物ではないでしょうか。干支もそうですが、私はどちらかと言うと厄年などのほうが気になりますね。(笑)

**会長** 実は私、戌年生まれでして「年男」なのです。犬は可愛いですね。我が家でもイングリッシュコッカーを飼っています。非常に人なつこくて、私の理解者の一人です。

**署長** うらやましいですね。当家はヨークシャテリアを飼っていますが、気性が荒くて触るだけで怒ります。

**司会** テリアは気性が荒い種類だそうです。犬は群れを好みますので、普段仕事に出ている男性にはあまりなつかないようですね。

**会長** 朝、犬と散歩をして、自分の健康管理の一助にもしております。統計によると動物を飼っているの方が癒されているらしく、飼い主が長生きできているとのことですよ。

**司会** うちでもダックスを2匹飼っています。本日は三人とも犬を飼っていることになりますね。



# ～新春対談～

## 出身地について

**司会** さて、三森署長のご出身についてお聞きしたいのですが。

**署長** 私は山梨県山梨市の出身です。盆地なので周りは山だらけです。桃畑やぶどう畑に囲まれて育ちました。天気の良い日は富士山がよく見えます。寂れた街ですよ。

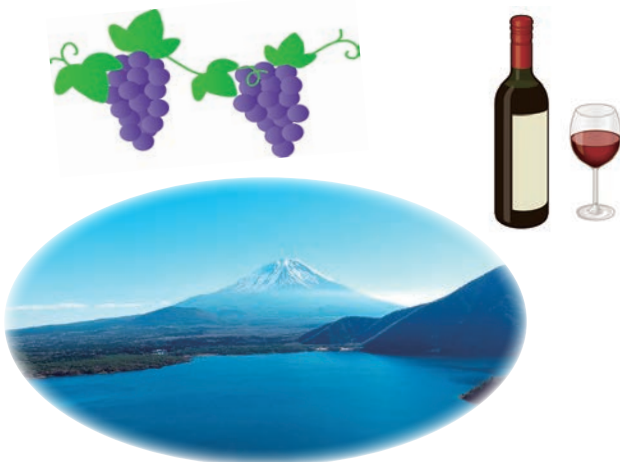
**会長** いえいえ、ご謙遜でしょう。山梨は鉄道・電気関係の創始者など多くの偉人を輩出しています。

**署長** そうですね。東武や阪急の創業者は山梨県出身です。「甲州財閥」と呼ばれる集団の一人に雨宮敬次郎という財閥がいました。中央線が竣工した時に彼は地元で鉄道を招いたため、中央線はまっすぐではなく迂回するような線路になっています。日本ではじめての地下鉄・銀座線を創業した早川徳次も山梨県出身です。

**司会** 山梨というとワインや富士山が印象的ですが如何ですか。

**署長** ワインは今でこそおしゃれな感じがありますが、昔は一升瓶で飲んでいました。富士山については「静岡側と山梨側で見るのとではどちらが綺麗か」と言う議論がよくあります。私は山梨出身だから言うのではありませんが、「山梨側」に一票ですね。と言うのは左右対称なのは山梨側です。そして何よりも今の千円札にデザインされている富士山は山梨側の本栖湖からの景色なのです。私も富士山には2度登頂しました。

**会長** それはすごいですね。ただ、静岡の人に言わせると表富士が静岡、裏富士が山梨、ということのようです。富士山が世界遺産に登録され、議論も白熱しているのでしょうか。



本栖湖からの富士山

**司会** 長澤会長は東京のご出身でしたね。

**会長** 私の家系はもともと地元です。私が昭和21年に生まれた時は、東京大空襲で実家が焼け出され、山形に疎開していたそうです。ただ、1歳の誕生日の前には東京に戻ってきました。ですから正確には「山形生まれの東京育ち」ですが、面倒なので東京出身と語っています。

**署長** 長澤会長のお姿を拝見すると「根っからの江戸っ子」と感じますね。

**会長** 長年お祭りに参加すると、喧嘩っ早くなりますね。(笑) みんなで花棒を取り合う段は、それはもう大変な騒ぎです。しかし、本当に喧嘩を売っている訳ではありません。下町の祭りはきっぷが良く、後には引きません。お祭りの話で面白いのは、今でもお祭りは氏神単位で催していますが、これが昔の町名のままで行います。私の地元の住所は台東区台東ですが、お祭りでは二長町です。上野と言う下町ならではの慣わしだと思います。下町を理解する上で、古い街並みの特徴として土地の大きさが小さく狭いんですよ。それは土地の相続で代々分割が進んだからだと思っています。

**署長** そう言われると確かにそうですね。私の自宅は杉並区ですが、杉並区には、いまでも大邸宅が点在しています。

**会長** 私の小さい頃などは、夏になると小さい家に居ると暑いので、近所の人達は路地に縁台を出し、水を打ち、将棋など指しながら涼んでいました。今で言うところの地域コミュニティですね。ですから、向こう三軒両隣、みんな仲が良いので、賊なども近寄らない訳です。下町特有の生業ですね。

**署長** そうですね。上野はまさに下町と言う雰囲気を感じます。同じ東京の人でも地域によって気質の違いはあるかも知れません。

**会長** そうなんです、ですから上野の皆さんは気心さえわかってくると、その行動力は素晴らしいものがあります。当会の青年部会や女性部会の役員・部会員の団結力などはまさしくそうできて、意気を感じてしっかり活動していただいております。その活動の深度は手前味噌ではありますが、自慢できます。

**署長** 上野法人会さんもそうですが、法人会はすごいと思います。法人会事業に対する気持ちや力の入れ方には強い思いが感じ取れます。e-Taxの普及についても率先して導入していただき感謝しています。

中立広報副委員長



長澤会長



三森署長

### 趣味について

**司会** 三森署長は昨年7月に東京上野税務署に赴任されましたが、その前はどちらでお仕事されていたのですか。

**署長** 税務大学校東京研修所の所長を務めていました。あまり聞きなれないかも知れませんが、この研修所は主として、高校卒業程度で新たに採用された職員に対する研修を行う施設です。ここでは1年間かけて「社会人としての良識、税務職員としての自覚を身に付けさせると共に、税務職員として必要な知識、技能等の基礎的事項を習得させる」ことを目的にしています。その他、通年で各種の短期研修も行われており、全体で千人を超える研修生を抱えている時期もあります。

**会長** そう言った意味では久しぶりの現場になる訳ですね。税務大学校の前はどちらの署に在籍しておられたのですか。

**署長** 平成25年に署長としては愛媛の新居浜税務署に勤務していました。また、副署長は平成17年から2年間玉川税務署におりました。

**司会** 上野に来られて、着任前と現在のイメージは変わりましたか。

**署長** もともとのイメージとしては、上野と言えばアメ横と東北方面の夜行列車ですね。私も夜行列車に乗った経験がありますが、どこことなく寂しい、暗いイメージもありました。しかし、今では上野駅周辺の開発も進み、新しい建物が建築されたり、国立西洋美術館やシャンシャンの話題などにより、すっかり明るいイメージに変わりました。署から見える不忍池も大変風情がありますね。四季折々でその姿が変わり行くことは、写真では知っていますが、実際に季節の移ろいにより、どのような風景に変わるのか、特に上野の山の桜などは今から楽しみにしています。

**司会** 長澤会長・三森署長のご趣味は何でしょうか。

**会長** 体を動かすことが好きで、小さい頃からスキーに夢中になっていました。父親が山形の出身ということもあります。学生時代には資格を取り、スキーのパトロールのアルバイトをする傍らスキーを楽しんでいました。

**署長** 私もスポーツは好きですね。若い頃は、ソフトボール・テニス・ボーリング・ゴルフなどをやっていました。最近ではご無沙汰ですが、先日法人会の青年部会との親睦ボーリング大会ではアベレージ100を切ってしまうという散々な結果となりショックを受けました。あとはギター・ドラム・ピアノなどもやっていました。高校3年生の時は、結成したバンドで第10回ピュラーソングコンテストの山梨県代表になりました。その時のつま恋全国大会での優勝者は中島みゆきでした。懐かしい思い出です。それから手品も趣味のひとつでして、たまに宴会などで披露しています。将棋も高校生の頃、三段を取りましたが、今は一級くらいの実力だと思います。とにかく趣味はいろいろあります。

**会長** 先日、ある会で署長のテーブルマジックを拝見させていただきましたが、見事な腕前でした。

**司会** 三森署長にお伺いします、最近の関心事は何でしょうか。

**署長** 仕事の話で申し訳ありませんが、二点あります。一つ目は若手職員の育成です。国税の職場の将来を担う若手職員を如何にして育てるかが私の使命と考えています。二つ目は内部事務の効率化や調査・徴収事務量の確保を目的として、東京上野署及び浅草署の内部事務を東京上野署内にセンターとして設置し、集約して処理する施策を実施しています。更に、このセンター化に合わせ、平成29年分の確定申告から上野合同庁舎3階で東京上野署及び浅草署の合同申告書作成会場を設置することとなっています。両管内の納税者の皆さんに東京上野税務署に足を運んでいただく事になりますので、署内のレイアウトも大きく変えました。特に、内部事務のセンター化については、全庁的にも注目されている取り組みですので、国税局や浅草署と連携を図りながら、職員一同、一致団結して取り組んでいきたいと考えています。



不忍池からの弁天堂と国立西洋美術館

# ～新春対談～

## 最後に

**会長** それは初めて聞きました。大変めずらしい事ではないのでしょうか。

**署長** 今までは、会場をどこかに借りて、いくつかの税務署が合同して確定申告の業務を行う、と言う事は既にありました。しかし、今回のように複数の税務署が庁舎内に合同申告書作成会場を設置し、集中して実施するのは全国でも初めてのケースです。ですので、国税庁や他の国税局からの視察が多くあります。

**会長** なるほど。今回のケースをベースに、他の税務署でも増えてくるかも知れませんね。

**署長** 業務の効率化を如何に進めていくかが今の私にとっての責務と考えています。ご他聞にもれず、税務署員の増員もままならない状況においては、効率化は真剣に考えていくことが必要です。一人で二役・三役を務めることも必要です。実際、上野署の職員でも浅草署に出向いたり、ほかの業務をこなす職員が何人もおります。

**司会** 長澤会長は昨年6月の法人会総会において、会長に選任されましたが、感想についてお聞かせください。

**会長** 私が会長職を拝命するなどとは、思ってもみなかったのですが、周囲から促され、お引き受けすることにいたしました。おかげさまで、法人会には長くお世話になっており、法人会の何たるかはよく理解しているつもりでしたが、会長職に就いて感じたのは「とにかく忙しい」のひとことです。法人会本体の事業に加え、他の団体の会合・行事が実に多い事にびっくりしました。しかし、それらをこなすのが私の責務ですので、がんばっております。幸い、お隣の浅草法人会さんも会長が交代し、新会長とは旧知の仲ですので、いろいろ相談し合いながら切磋琢磨しています。また、先程も言いましたが、当会の人材は優秀で、皆さん本当に献身的に事業に参画していただいています。それが今の私にとっての支えになっていますし、本当に感謝しています。

**署長** 本当にそうですね。法人会のパワーは驚嘆に値します。

**司会** 最後に署長にお聞きします。上野法人会に今後期待することはございますか。

**署長** 税務行政は、関係民間団体の協力なくして成り立たないものと思っています。特に、上野法人会は、税のオピニオンリーダーとして、正しい税知識の普及や納税意識の高揚を図るため、各種研修会やセミナーの開催、また、「税金ジュニアスクール」や「税に関する絵はがきコンクール」の実施など租税教育にも力を入れておられます。税に関する様々な啓蒙活動に大変熱心に取り組んでいただいているとともに、会員企業はもとより、公益社団法人として地域企業の健全な発展にも多大な貢献をしておられます。これらの活動は、税務署にとりましても、大変大きな力となっております。役員の皆様をはじめ、会員の皆様が一生懸命に活動されている姿には、本当に頭が下がる思いです。管内の多くの企業が、法人会に加入され、より組織が拡大される事を期待しています。私ども税務署としましても、今年1年、法人会の皆様と一緒に活動していきたいと思っておりますので、引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

**会長** こちらこそ、研修会の講師やその他の事業に対し、税務署の皆様から多大なご協力をいただき、感謝しております。この1年もどうぞよろしくお願いいたします。

**司会** 本日は新年のお忙しい中、貴重なお話を賜りまして本当にありがとうございました。今年もお二人にとって輝かしい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



## 税金クイズラリー

平成 29 年 11 月 11 日 (土) 10:30 ~ 恩賜上野公園ポケットパーク

税務6団体主催の「税金クイズラリー」が11月の「税を考える週間」に開催され、1,800名の方にご参加頂き、大盛況でした。



**東京上野税務署 納税表彰受彰者**

**平成 29 年度 当会受彰者ご披露**

平成 29 年 11 月 15 日 (水) 15:30 ~  
東天紅上野本店

**署長表彰**



吉田 憲一郎氏 中立 由美子氏

**署長感謝状**



佐藤 明人氏 高谷 禎宣氏 富坂 伸吾氏

**【税務功労】**

**【広報功績者】**



株式会社 多慶屋  
代表取締役社長 竹谷 宗二氏

**東京国税局長感謝状  
【税務功労】**



株式会社 三幸  
代表取締役社長 馬目 卓氏

**台東都税事務所  
税務功労者所長感謝状**

平成 29 年 11 月 22 日 (水) 14:00 ~  
台東区寿区民館

受彰 高氏 秀機氏



**したまち  
TAITO 産業賞**

平成 29 年 11 月 21 日 (火) 15:30 ~  
台東区役所

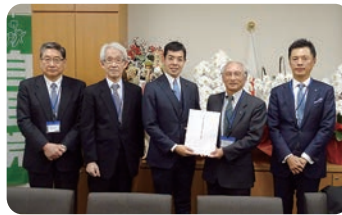
協育歯車工業株式会社  
代表取締役社長 井田 斉昭氏



**平成 30 年度税制改正に関する提言**

平成 29 年 11 月 20 日 (月) 衆議院第一議員会館

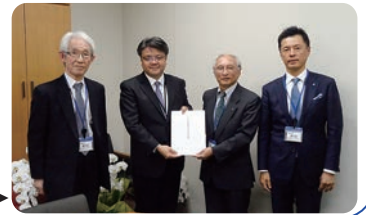
東法連第2ブロックの小石川、本郷、上野、浅草の4法人会では衆議院議員の辻清人氏、松島みどり氏の事務所へ「平成30年税制改正要望」の陳情に行きました。当会からは高氏税制担当副会長が出席し、実状の説明と要望の提言を行いました。



(左から) 高氏副会長、松島議員秘書 ▶

**税制委員会**

◀(左から2人目)  
高氏副会長、辻議員



**親会事業**

**第4回理事会**

平成 29 年 12 月 11 日 (月) 17:00 ~  
上野精養軒

第4回理事会は、理事44名中、出席者35名で過半数を超え、理事会が成立しますという発表後、議事が進行されました。議案事項が滞りなく承認された後、委員会、部会活動、今後の予定等の報告がありました。



▲長澤会長



**第3回総務委員会**

平成 29 年 11 月 27 日 (月) 10:30 ~  
朝日信用金庫西町ビル 4 階

総務委員会 (小林委員長) が開催され、「第4回理事会」の議案等について話し合われました。



**第1回税制委員会**

平成 29 年 11 月 10 日 (金) 11:00 ~  
朝日信用金庫西町ビル 4 階

税制委員会 (栗原委員長) が開催され、平成30年度税制改正要望等について話し合われました。



**第1回社会貢献委員会**

平成 29 年 11 月 30 日 (木) 11:00 ~  
朝日信用金庫西町ビル 4 階

社会貢献委員会 (長岡委員長) が開催され、緊急時支援エントリーシート (ES) の更改等について話し合われました。



**東法連「税を考える週間」協賛 「山手線一周税務広報活動」**

平成29年11月14日(火) 8:55~17:00 山手線主要10駅周辺  
(上野駅マルイ前 11:25~12:25)

東法連では「税を考える週間」に合わせ、初の試みとしてアイドルグループとのコラボによる「山手線一周税務広報活動」を展開しました。この活動は、複数の法人会が参画して、共通の広報活動を実施するもので、アイドルグループ「全力少女R」と青年部会員が山手線主要駅10駅周辺で、税務広報物を配付しました。10,000部の広報物は予定時間内に全て配付し、広報活動効果は向上されたものと思われま



税を考える週間協賛 平成29年11月20日(月) 17:30~ 公益社団法人上野法人会  
大型講演会 浅草ビューホテル4F「飛翔の間」 公益社団法人浅草法人会 共催

**田崎史郎氏講演会**  
**日本は良くなるか**  
～政治と経済の行方～



田崎史郎氏

今年度の税を考える週間協賛「大型講演会」は時事通信社特別解説委員の田崎史郎氏をお招きして、「日本は良くなるか～政治と経済の行方～」というテーマで講演していただきました。田崎氏は長年政治記者として活躍され、政界の裏話などもお話いただきました。また、衆議院選挙が終了したばかりのタイミングでの講演会でしたので、選挙にまつわる話を聞くこともでき、聴講者の皆さまには大変好評を博しました。

**第21回 法人会寄席の鈴木** **会員限定**  
～笑って、笑って、商売繁盛～  
平成29年11月9日(木) 18:00~  
鈴木演芸場



**社会貢献活動**



ご協力ありがとうございました

**部会報告**

**第4回研修会**

**「年末調整と法定調書の作成」**

[と き] 平成29年10月26日(木) 13:30~  
[と ころ] 朝日信用金庫西町ビル7階  
[講 師] 東京上野税務署 法人課税第二部門  
平部祐子上席国税調査官他



**源泉部会**

**「年末調整のポイント」**

[と き] 平成29年11月21日(火) 13:30~  
[と ころ] 朝日信用金庫西町ビル7階  
[講 師] 東京上野税務署 法人課税第二部門  
平部祐子上席国税調査官



**第5回研修会**

**女性部会 第3回幹事会**

[日時] 平成29年12月6日(水) 17:00~  
[場所] 割烹かねこ

女性部会(中立部会長)では、第3回幹事会を開催し、税に関する絵はがきコンクールや今後の事業について協議しました。



中立部会長

**女性部会**

**暮れの懇親会**

[日時] 平成29年12月6日(水) 18:00~  
[場所] 割烹かねこ

女性部会(中立部会長)では、「暮れの懇親会」を割烹かねこにて開催。旬のお料理をいただき、本年の事業の締めくくりとなりました。



締め: 吉田顧問



中立部会長



乾杯: 森重副会長



### 講演会

## 明治維新とは何だったのか

～明治維新の本当の姿～

【日時】 平成29年10月17日(火) 18:00～19:00

【場所】 朝日信用金庫西町ビル7階

### <明治維新は革命か>

明治維新の評価は分かれていて、近年では「明治維新を評価しない」と言う歴史学者が増えています。当たっている面もありますが、良い所も多々あります。また、明治維新とは「日本史が始まって以来の革命である」と言う説が以前からあります。しかし普通に考えれば、明治維新はどこを見ても「革命ではない」と思います。それは徳川幕府と言う幕藩・武家の政治から、下級武士とは言え、同じ武家が政権を獲り、明治政府を興しているからです。何よりもその証拠に、徳川慶喜を始めとする明治維新に抵抗した勢力を明治政府は誰も処刑していません。もう一つの理由として、明治2年になって政府は岩倉具視や大久保利通などの要人の殆どを欧米視察に2年間も行かせています。もし革命であれば、怖くてそのようなことはできない筈です。以上のことから「明治維新は革命ではない」と言えると思います。

### <明治は江戸の否定から始まった>

それでは明治維新の実態とは何だったのかと言うと「江戸の否定から始まった」の一言だと思います。要するに「江戸は駄目、明治は良い」「江戸は暗くて悪い時代、明治は近代的で良い国家」と宣伝されていました。その目的は「欧米に追いつけ・追い越せ」だったのです。それまでの封建時代から近代国家を創設するには、まずは日本の悪い所を捨て、欧米に見習って、欧米を追い越すのが明治政府の方針でした。ですが当時の江戸は全てが否定されるものではなかったと私は考えます。

### <五箇条の御誓文>

ここで慶応4年3月に示された、明治政府の基本方針である「五箇条の御誓文」について触れたいと思います。まず第一条には「広く会議を興し、万機公論に決すべし」とあります。第二条には「上下心を一にして、さかんに経綸を行うべし」と示しています。第三条は「官武一途庶民に至る迄、おのおのその志を遂げ、人心をして倦(う)まざらしめんことを要す」です。第四条は「旧来の陋習(ろうしゅう)を破り、天地の公道に基づくべし」第五条は「智識を世界に求め、大いに皇基を振起すべし」と続きます。では実際にこのような御誓文が実行されていたのでしょうか？例えば第一条に「広く会議を興し…」とありますが、広く会議を興す場である国会は明治22年によく開かれています。実に四半世紀近くも国会がなかったのです。



講師

東叡山寛永寺 長騰 浦井正明先生

それから第二条に「上下心を一にして…」とありますが、明治という時代、表向きは近代国家として治まっていたと言われていますが、実際はドタバタした時代であったと思います。江戸時代にはなかった戦争を、明治時代は日清戦争・日露戦争と言う二つの戦争を起こしています。これで本当に上下が心を一つにして、と言えるでしょうか。第三条「官武一途庶民に至るまで…」にしてもそうです。官武のうち武はなくなります。また庶民に至るまで、とありますが下級武士ではありますが、武士団と公家が政府の要人であった訳です。とても庶民に至るまでとは言えないと思います。それから第四条の「旧来の陋習(ろうしゅう)を破り…」とは、旧来=江戸時代は駄目だ、と言っている訳ですが、それでは「天下の公道」とは何だったのか、曖昧なところがあります。ただ単に江戸は封建的で駄目だ、と否定しているだけだと思います。また第五条「智識を世界に求め、大いに皇基を振起すべし」とあります。皇基とは天皇のことです。欧米を見習うことと、天皇を振起することがどう繋がるのか？わかったようでわからない、脈絡のない表現です。大まかには以上ですが、国会についても少し言えば、明治政府は元老院を発展させ国会を開いたと言っております。しかしこれは言葉を替えて言えば、坂本龍馬や徳川慶喜の考えをそのまま実行したのに過ぎないのです。龍馬の有名な「船中八策」の中で、彼は合議制度を提唱しています。また、徳川慶喜も列侯会議を考えていました。倒幕派の龍馬や幕府側の慶喜が共に合議制度を考えていた訳です。五箇条の御誓文はスローガンとしてはいいのかも知れませんが、内容については疑問が残ります。龍馬が生きていたら明治政府の合議政体も違う形で進められたと思います。

### <尊皇攘夷の実態>

幕末に起きた尊皇攘夷の運動について少し話しましょう。そもそも尊皇攘夷とは何であるか。本来「尊皇」と「攘夷」は結びつかないものなのです。「尊皇」と、外国を受け入れないという「攘夷」は一致しないと思います。これは、孝明天皇は外国人が嫌い、公武合体派の天皇からすると「幕府とは仲良くするが、異国は打ち払え」と言ったのが、尊皇を唱える人々が天皇の意思を尊重して「尊皇攘夷」と言っただけのことなのです。それが一番わかるのは、長州が下関で英国軍隊と戦いましたが、壊滅状態に陥ります。長州は下関に砲台を作りましたが、英国の艦載している砲台のほうがはるかに優秀で、とても太刀打ちできない。その後長州は「尊皇倒幕」を唱えるようになり、攘夷はいつの間にか引っ込めてしまった。これは「とても外国にはかなわない。攘夷は無理だ」と言うことでスローガンを変えてしまったのです。これは悪く言えば「御都合主義」なのです。今までは尊皇攘夷と言っていたのが、



今度は幕府が悪いと言いだしたのですから。ですから尊皇攘夷とは実態のないものであったと思います。明治維新の功労者の一人である公家の岩倉具視は、或る手紙の中に「結局は玉(ぎょく)(天皇)を押さえた方が勝ちだ」と書いています。要するに、どう戦おうが最終的には天皇を押さえた方が勝ちなのだ、と言っているのです。これのどこに「尊皇」があるのでしょうか。天皇は材料にされていただけなのです。岩倉に尊皇の思想があったのか不可解です。

## ＜明治政府の御都合主義＞

では、明治政府はどうだったか。一言でいうと「御都合主義」と言っていると思います。例えば西郷などは幕末に「誰を許しても徳川慶喜だけは許さない。必ず切腹させる」と言っていました。ところが慶応4年(明治元年)2月には明治政府から「死一等を減ずる」という話がありました。要は「慶喜は殺さない」ということです。しかも慶喜が大正2年11月に77歳で亡くなったあと、政府は「勲一等旭日大綬章」まで授けています。45年前の朝敵が公爵となったのです。これは明治政府が旧・幕府側の反乱を恐れていたためです。また明治10年に西南の役が起こった時に、明治維新の功績者であった西郷が朝敵となり戦死しますが、その5年後には復権を許されます。そして明治23年には西郷の銅像を建て顕章しようという話がでます。時を同じくして彰義隊のお墓を建てようという話もありましたが、彰義隊は朝敵なので募金を呼び掛けても集まらない。一方、西郷は復権していたので、全国から2万6千人が募金に応じ、西郷の銅像は建てられました。明治政府は彰義隊には「寄せ集めの軍隊」ということで、明治45年までいじめ続けるという気の毒なことをしています。これは誰も反発しないだろう、ということをやっていた訳です。西郷についてももう少し話をします。幕末の最期に赤報隊(せきほうたい)という軍隊がありました。これは西郷が目を付けた、下総(千葉県)の豪農の息子である相楽総三に軍隊を任せ、江戸に行かせて江戸の町に火をかけさせ、攪乱させようとしたものです。その主張は新政府ができた後は税金を半分にするとするものでした。(当時の農村の税金は35%、米100俵に対し35俵)慶応3年には幕府は大政奉還を行っており、倒幕を唱えていた西郷としては、倒す相手が居なくなってしまった。従って幕府に対し挙兵を仕掛けたい西郷は、江戸の町を攪乱させ、幕府を怒らせたいという思惑があったのです。その思惑は的中し、幕府側(荘内藩士)が薩摩藩邸を焼き討ちします。これをきっかけに鳥羽伏見の戦いが勃発し、西郷は勝利を収めました。その後薩長は何をしたかと言うと、江戸を攪乱した赤報隊に対し「彼らは偽(にせ)官軍である。税金を半分にするとするなどは、相楽たちが勝手に言ったことである」として、彼らを処刑してしまいます。当然西郷もそのことは知っていました。この話はあまり知られていないことだと思います。煽るだけ煽っておいて、御用済みとなった後は、弱みを握られるのを嫌い、都合の悪いことは切り捨ててしまうという乱暴極まりないことを行いました。



これは明治政府の御都合主義の最たる出来事だと思いません。明治維新とは訳のわからないものであった、と言うのが私の感想です。

## ＜実際の江戸＞

最後に「江戸とはどのような町であったか」について話をします。先ず教育についてです。明治政府は明治5年に学校令を制定し、1,500もの学校を創ったと自慢しています。しかしこれは江戸時代に既に存在していた藩校や寺子屋が明治の学制に則って学校になったに過ぎません。例えば台東区にある育英小学校(現在の台東育英小学校)は学制が制定される以前の、明治3年に明治政府とは関係なく西福寺境内に設立されました。また文京区の誠之(せいし)小学校などは、福山藩の阿部家の藩校でした。明治政府が言う1,500の学校と言うのは、殆どが江戸時代にあったものを、名前を改めただけです。また、江戸時代の識字率は80%であったと言われていています。100人のうち80人が字を読めた訳です。この時代、どこの国を見ても識字率80%など高い数字はありません。ですから江戸時代には古本屋や貸本屋がたくさんありました。貸本などは町の人は、一人が借りてくと周囲の人が回し読みし、借り賃を安くする工夫をしていました。また旅行なども、今で言う旅行代理店に近い業者が江戸時代にも既に存在していました。旅に出るにあたり、大金を持ち歩くのは危険なので、宿賃は前もって届ける。ですから旅行する人は小遣い銭だけを持ってればよかったです。商売にしても、為替という制度がありました。例えば、大阪と江戸で商取引があった時に、いちいち飛脚に100両・200両の現金を持たせるのは危険です。そこで一定期間は手形で処理をして、決算時にそれぞれの差額を決済していたのです。それから上下水道なども当時は江戸にしかなかったのではないのでしょうか。当時の欧州、特にパリなどは「夜中に建物の近くの通りを歩くな」と言われていました。それは夜中になると窓から糞尿を捨てていたからです。ところが江戸では既に上下水道が整備されました。しかも下水道には糞尿を流さず、それは近隣の農家に売り、肥料となっていたのです。ですから江戸の町は清潔で綺麗だったのです。

## ＜おわりに＞

このように江戸時代には様々な面で制度が完備されていたと思います。明治政府がけなすほど悪いものではなかったということ。例えば、町人の子供が幕府の御家人株を購入し、武士になることもできました。あるいは農村の次三男は江戸や大坂に出てきて、工芸家に弟子入りして技術を磨き、身を立てることもできました。私は「明治維新は全てが新しくなり、良くなった」と断言できるかと言うと、疑問が残ると思います。折しも来年は明治維新から150年になります。もう一度維新を見直ししてみるのも良いのではないのでしょうか。

長時間に亘り、明治維新に纏わる興味深い数々のお話をいただきました。有難うございました。

# 「税金ジュニアスクール」



今年で14回目となる青年部会（志賀吉典部会長）主催「税金ジュニアスクール」は今年度も台東区内小学校9校で実施いたします。12月に黒門小学校、平成小学校、大正小学校で開催し、1月に上野小学校・根岸小学校・金曾木小学校・谷中小学校、2月に忍岡小学校・東泉小学校での開催を予定しています。

黒門小学校

平成29年12月5日（火）  
10：40～11：25



平成小学校

平成29年12月12日（火）  
10：40～11：25



大正小学校

平成29年12月18日（月）  
14：35～15：20



## 第31回法人会全国青年の集い 高知大会

平成29年11月9日（木）・10日（金）  
高知県民文化ホール



「第31回 法人会全国青年の集い 高知大会」が、高知市・高知県民文化ホールを中心に、11月9日・10日で開催されました。今回は全国から約2,400名の青年部会員が高知市に集結し、上野法人会からは佐藤青年担当副会長、冨坂青年顧問をはじめ、志賀青年部会長以下15名での参加となりました。改めて法人会が全国的な組織であり、また全国青年の集いが大きく意味のある会だという事を実感致した次第です。

会場近くの三翠園では物産展ブース・飲食ブースが数多く出展されており、カツオや土佐和牛を使った郷土料理に舌鼓を打ちながら、高知の魅力ある名産品に触れることが出来ました。また高知市内を流れる鏡川沿いに多くの飲食用スペースが用意されていたのですが、どこも満席で座る場所を探すにも苦労するような状態でした。

会場の高知県民文化ホールでは式典に先立って行われた高知県出身の芸人・間寛平さんの講演を拝聴致しました。2008年12月17日に大阪なんばのグランド花月を出発して、マラソンとヨットで世界を一周した様子を映像とギャグ満載の話術で紹介する講演で、笑いあり感動ありと一流の芸人さんならではのトークに会場は大盛り上がり。



14:00~15:30 記念講演 16:00~17:45 大会式典  
【演題】「走ることで伝える大切な事  
～夢・出会い・絆～」  
【講師】間 寛平氏

寛平さんの話術はもちろん、あきらめない姿勢と勝負の時を見極める決断力は、ビジネスの話にも置き換えられる素晴らしい内容でした。

観光では、志賀部会長のご紹介で高知で創業415年の歴史を誇る「司牡丹酒造」さんの酒蔵見学に伺いました。竹村明彦社長みずから、日本酒の製造工程を案内して頂き、司牡丹が伝統を大切にしながら、いかに高品質なものを高い精度で作るかという事への取り組みや、大切さを教えて下さいました。竹村社長は非常に気さくで、温かい人柄の方ですが、400年続く企業の社長が持つ事業へのこだわりや信念を言葉の端々に感じる事が出来ました。



翌日は高知市内観光など、高知の魅力を感じた2日間となりました。

末筆ではありますが、今回の大会参加にあたり多くの方にご尽力いただきました事、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

<写真・文 須賀青年副部会長>

## キッズニア東京 「TAX WEEK 2017」

東法連では、11月13日～19日に『税を考える週間』関連行事として期間限定でらぽーと豊洲にあるキッズニア東京に税務署ブースを開設しました。キッズニア東京における租税教育活動は今回で7回目となります。キッズニアでいろいろな職業体験を通じ、社会にどのように貢献でき、その中で「税金」がどのような意味を持ち関わっているのかを知ってもらい、理解を深めてもらう良い場だと思います。

税務署ブースでは税金について学んだのち、税務調査の仕事と広報官としてセミナーの講師をする2つの仕事体験ができます。見学に訪れた日は、広報官のお仕事受付が早々に終了しており、人気パビリオン顔負けの盛況ぶりでした。この他にも会場内では税金についてのクイズラリーや税金かるた大会も行われており、仕事体験ができない小さな子供たちも気軽に手軽に楽しく税金に触れていました。

<写真・文 石井青年幹事>



# Best Fit AI!

## 「未来」のテクノロジーで 人を見極める!

【日時】平成29年11月13日(月) 18:30~  
【ところ】朝日信用金庫西町ビル7階

＜講師＞株式会社 ミライセルフ

代表取締役CEO おもて たかのり

表 孝憲氏



11月13日、朝日信用金庫西町ビル7階にて上野法人会青年セミナーが開催されました。今回のセミナーは、講師に株式会社ミライセルフ代表取締役CEOの表孝憲氏をお招きし、「Best Fit AI! 「未来」のテクノロジーで人を見極める!」と題してご講演いただきました。

AI=人工知能と言えば、近年進歩が目覚しく、その能力が人間を超えるのかどうか時折話題に上ります。将棋や囲碁などの名人が人工知能に負けたというニュースを見かけることも少なくありません。また、少子高齢化とともに加速度的に労働人口が減少している日本国内においては、その人手不足対策の一環としても人工知能の活用が注目されています。

表氏は、HRテックという業界で事業をされています。HRテックとは、フィンテックという単語に代表されるように「〇〇+テクノロジー」の一種です。HRとテクノロジー、つまり人事と技術の融合であり、働き方改革でも取り上げられている注目度の高い業界の一つです。

講演では、人工知能が得意とする領域や今後の発展についてお話いただくとともに、人口知能を活かした適性検査(従業員採用のためのツール)の取組みについてお教えいただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。

### ＜人工知能について＞

「人工知能」は、機械が人の知能のような働きをすることを指しますので、実は非常に幅広い概念です。コンビニなどの店舗に設置されている自動ドアも、機械が自動的に人の動きを感知してドアの開閉をしますので、広義には人工知能と言えるのかもしれませんが、自動ドアは私達のイメージする人工知能とは少し違うのではないかと思います。最近、人工知能と言われるものは、大雑把に定義するとコンピュータが勝手にいろいろと出来るようになっていく「機械学習」の領域を指していることが多いのではないかと思います。

人間であれば「田んぼ」という単語を聞いて、「田んぼ」の光景を想像することは容易です。一方で、「田んぼ」を想像している頭の中の仕組みを説明することは非常に難しくなります。この頭の中で想像する過程のように、計算式での記述が難しいことはコンピュータが苦手な分野です。コンピュータが得意な分野は計算式で記述が可能なことであり、例えば2の1,000乗や100万桁の素数を計算することなどが挙げられます。

機械学習は、コンピュータの不得意を減らす強力な武器です。大量のデータを学習させることによって直接明示的なプログラムを書くことなくコンピュータに所望の動作をさせることが出来るようになります。機械学習のためには、解決したい課題があること、かつ解決方法を学習するために必要なデータが豊富にあることが条件です。例えば何枚も写真を読み込ませて、

猫の写真には「これは猫である」、猫以外の写真には「これは猫ではない」ということを繰り返し認識させることで、徐々に機械自身が猫と猫以外のものを判別が可能になっていきます。このように正解にあたるものを人間が教えて、機械が学んでいく機械学習を「教師あり学習」と呼びます。

人工知能が人間の仕事を奪うのではないかという話題が取り沙汰されることもありますが、機械学習の中で一番成長分野にある教師あり学習については、正解を教える教師役がまだまだ必要です。人工知能の実務に携わる者として、個人的な見解としては、人間の力がまだまだ圧倒的に必要なのです。

### ＜適性検査について＞

人はスキルで採用されてカルチャーで辞めていくと言われていきます。この言葉には、従業員が会社にマッチするのかわりかは文化や社風のような潜在的な要素が多く、採用時に見極めることが難しいことが表れています。また、現在の売り手市場の状況下では、面接に時間をかける採用は難易度が高いでしょう。

企業と採用候補者のミスマッチを防ぐために何が必要なのか。逆説的な話になりますが、面接で一生懸命見抜こうとしすぎないことだと考えます。

人対人の面接には、面接官に様々なバイアスがかかります。例えば、昨年採用した留学生の方が活躍していた場合、今年も留学生を採用すれば活躍するのではないかと期待したり、体の大きな体育会系の候補者はストレス耐性が強そうだと思ってしまうことです。バイアスがかかることを理解していても、人間がバイアスを完全に排除しきることは非常に難しいのです。

バイアスの影響を抑えるのにはどうすればいいのか。最近注目されている手法の一つが構造化面接です。会社の大切な価値観や社風などを予め整理しておいて、面接でその質問をするという手法です。整理しておけば、誰でも同じような内容で面接を進められるうえ、面接の精度が高まります。

面接には採用候補者がどんな人物なのか見抜くという側面と入社に至るように口説くという側面があり、見抜くことを構造化してシンプルにすることで、採用したい人材をしっかり口説くことに時間を使う。売り手市場の現状では特に有効な手法です。

株式会社ミライセルフで運営されている適性検査のツール「mitsucari(ミツカリ)」では、企業の方の適性検査結果と採用候補者の結果との相性を確認することができるそうです。



セミナーでは、参加者も適性検査を体験させていただきました。面接では触れることが難しいような思考のクセや行動原理がデータとして確認でき、まさに人事と技術の融合を体感させていただきました。

また、講演の中で表氏が引用された言葉に「この世界に確実に存在しているものを幅広く認識する能力。それをベースに推論し、仮説と検証を繰り返して何かの法則を見つけ出す能力はAIの圧勝であるが、認識されたものに感動し、豊かな気持ちになるといったことは人間の不戦勝である」というものがありました。

技術が進歩しても感情は人間にしか持ち得ないもので、取って代わるものは存在しません。人と人との交流の中での感動を大事にしなければと再認識しました。

＜文 中島青年幹事＞

平成 29 年度 公益社団法人上野法人会・女性部会

# 税に関する絵はがきコンクール

主催：公益社団法人上野法人会  
後援：国税庁

女性部会（中立部会長）では、税に関する絵はがきコンクールを開催いたしました。  
台東区内小学校 9 校の 6 年生を対象に募集し、480 作品の応募がありました。

入選作品  
発表！

## 東京上野税務署長賞



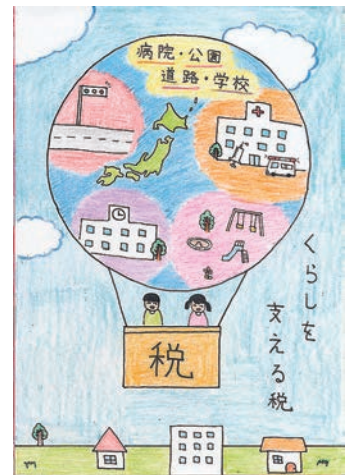
高森大幹さん（根岸小学校）

## 上野法人会長賞



杉田はるひさん（谷中小学校）

## 台東区長賞



長岡慧美さん（根岸小学校）

## 女性部会長賞



菱山千夜里さん（金曾木小学校）

## 台東都税事務所長賞



蓮見玲奈さん（東泉小学校）

## 優秀賞

（優秀賞：五十音順）



赤澤ソニアさん（谷中小学校）



数井陸也さん（金曾木小学校）



清野月愛さん（根岸小学校）



工藤希和さん (大正小学校)



小林桃子さん (忍岡小学校)



杉本悠乃さん (東泉小学校)



高井龍大さん (黒門小学校)



田邊 瑠さん (黒門小学校)



立川美優さん (上野小学校)



永山 快さん (金曾木小学校)



根岸浩太郎さん (根岸小学校)



野口愛璃さん (根岸小学校)



原川侑大さん (平成小学校)



藤田 駿さん (上野小学校)



若林はなさん (大正小学校)

## 税務署からのお知らせ

## 平成29年分 確定申告について

台東区の方の申告書作成会場を

平成30年2月16日(金)～

※平成30年2月15日(木)  
以前は、申告書作成会場は  
ありません

東京上野税務署内に開設します。

(会場は、東京上野税務署・浅草税務署の合同申告書作成会場です。)

※浅草税務署内に申告書作成会場はありません

【期 間】 平成30年2月16日(金)～3月15日(木)(土、日を除きます)  
《3月12日以降は、特に混雑しますので、ご来署はお早めにお願ひします》

【時 間】 〈受付〉午前8時30分から  
〈相談〉午前9時15分から午後5時まで

【場 所】 台東区池之端1-2-22 上野合同庁舎『東京上野税務署(3階)』

- ☆ 作成会場が混雑している場合は受付を早めに締め切ることがありますので、なるべく午後4時までにお越しください。
- ☆ 浅草税務署管内の方で、申告書の提出のみの方は、浅草税務署にお持ちいただくか、税務署事務処理センター(〒110-8655 池之端1-2-22 上野合同庁舎)宛てに郵送にてご提出ください。
- ☆ 平成29年分の申告・納税期限等は次のとおりです。

申告の種類	申告・納税期限	振替納付日
所得税及び復興特別所得税	3月15日(木)	4月20日(金)
個人事業者の消費税及び地方消費税	4月2日(月)	4月25日(水)
贈与税	3月15日(木)	

- ☆ 納税は、振替納税をご利用ください。ご利用には「預貯金口座振替依頼書」を、上記の納税期限までに税務署又は金融機関の窓口へ提出していただく必要があります。なお、贈与税には振替納税はありません。

### 閉庁日の対応について

東京上野税務署では、土曜日・日曜日には執務を行っていませんが、平成30年2月18日、2月25日の日曜日に限り、東京国税局で確定申告書作成のアドバイス等を行います。

**東京国税局** 東京都中央区築地5-3-1 (1階会議室)

- 〈受付時間〉 午前8時30分から午後4時まで
- 〈相談時間〉 午前9時15分から
- ▶都営地下鉄大江戸線 築地市場駅 A2・A3出口 徒歩1分
- ▶東京メトロ日比谷線 東銀座駅 3・5・6番出口 徒歩7分
- ▶東京メトロ日比谷線 築地駅 1・2番出口 徒歩8分

### 申告書にはマイナンバーの記載が必要です!

平成28年分以降、所得税及び復興特別所得税・消費税及び地方消費税・贈与税の申告書は、税務署へ提出する都度、マイナンバー(個人番号)の記載と、本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。

《本人確認書類の例》

- ① マイナンバーカード(個人番号カード)のみ(【番号確認書類】と【身元確認書類】を兼ねています。)
- ② 通知カードなど【番号確認書類】+運転免許証や公的医療保険の被保険者証など【身元確認書類】

※1 郵送にて申告書を提出する場合は、①の写し(表裏両面)又は②の写しを添付してください。

※2 ご自宅からe-Taxで送信する場合は、本人確認書類の提示又は写しの提出は不要です。



【お問合せ先】 東京上野税務署(所得税・消費税) 3821-9001(代) 台東都税事務所(個人事業税) 3841-1271(代)  
浅草税務署(所得税・消費税) 3862-7111(代) 台東区役所(個人住民税) 5246-1103～5


# 2018 新春 税金クイズ

新年あけましておめでとうございます  
2018年もクイズにチャレンジ！何問できるかな♪




**子** 平成30年1月現在で  
所得税の還付申告が  
できるのは何年分まで  
でしょうか？

③ 26年分  
② 25年分  
① 24年分




**丑** 東京国税局管内には  
全部でいくつの税務署  
があるでしょうか？

③ 96署  
② 84署  
① 56署




**寅** 法人税の確定申告は  
決算期から原則いつまで  
に申告しなければならぬ  
でしょうか？

① 2週間以内  
② 1ヶ月以内  
③ 2ヶ月以内




**卯** 日本では「税」はいつ頃  
からあるでしょうか？

① 弥生時代  
(約紀元前10世紀～紀元後3世紀)  
② 飛鳥時代  
(約592年～710年)  
③ 鎌倉時代  
(約1185年から1333年)




**辰** 贈与税はいくら  
から発生する  
でしょうか？

③ 600万円超  
② 110万円超  
① 38万円超




**巳** 金銭の領収書に、  
「商品販売代金48,000円、  
消費税額等3,840円、  
合計51,840円」と記載した  
収入印紙が貼付されていなく  
ても問題はなしでしょうか？

② ×  
① ○




**午** 消費税の軽減税率制度  
の実施時期はいつから  
でしょうか？

① 平成30年10月1日  
② 平成31年4月1日  
③ 平成31年10月1日



**未** 配偶者の収入がパート  
のみの場合、いくらまで  
なら所得税はかからない  
でしょうか？

① 65万円以下  
② 98万円以下  
③ 103万円以下




**申** 消費税の軽減税率  
の税率は何%で  
しょうか？

③ 8%  
② 5%  
① 3%



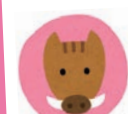
**酉** お金で税を納めるよう  
になったのは、いつ頃  
からでしょうか？

① 江戸時代  
(約1603年～1868年)  
② 明治時代  
(約1868年～1912年)  
③ 大正時代  
(約1912年から1926年)



**戌** 導入された当時、  
「名譽税」とも  
呼ばれていた税金は  
どれでしょうか？

① 所得税  
② 相続税  
③ 贈与税



**戌** 2018



- ◎ ① 子 平成30年1月現在で所得税の還付申告ができるのは何年分まででしょうか？  
◎ ② 丑 東京国税局管内には全部でいくつの税務署があるでしょうか？  
◎ ③ 寅 法人税の確定申告は決算期から原則いつまでに申告しなければならぬでしょうか？  
◎ ④ 卯 日本では「税」はいつ頃からあるでしょうか？  
◎ ⑤ 辰 贈与税はいくらから発生するでしょうか？  
◎ ⑥ 巳 金銭の領収書に、「商品販売代金48,000円、消費税額等3,840円、合計51,840円」と記載した収入印紙が貼付されていなくても問題はなしでしょうか？  
◎ ⑦ 午 消費税の軽減税率制度の実施時期はいつからでしょうか？  
◎ ⑧ 未 配偶者の収入がパートのみの場合、いくらまでなら所得税はかからないでしょうか？  
◎ ⑨ 申 消費税の軽減税率の税率は何%でしょうか？  
◎ ⑩ 酉 お金で税を納めるようになったのは、いつ頃からでしょうか？  
◎ ⑪ 戌 導入された当時、「名譽税」とも呼ばれていた税金はどれでしょうか？
- ◎ ⑫ 子 平成25年分  
給与等から源泉徴収された所得税額や定額税額をした所得税額が年間  
の所得金額について計算した所得税額よりも多いときは、確定申告を  
することによって、納め過ぎの所得税の還付を受けることができます。  
この申告を還付申告といいます。還付申告書は、確定申告期間とは関係  
なく、その年の翌年1月1日から5年間提出することができます。  
◎ ⑬ 丑 ⑧4署です。全国には524署あります。  
◎ ⑭ 寅 ③2ヶ月以内  
定款等の定め又はその法人に特別の事情があることにより、その事業  
年度以後の各事業年度終了の日の翌日から2ヶ月以内にその各事業年度の  
決算についての定時総会が召集されない状況にあると認められる場合には、  
法人の申請に基づき、提出期限を延長することができます等、申告期限の延  
長の特例制度があります。  
◎ ⑮ 卯 ①弥生時代(紀元前10世紀～紀元後3世紀)  
【雑居人伝】という古い書籍で、古くは那馬台国(卑弥呼が治めていた時代)  
に税の制度があったといわれています。(当時の租税は稲等の収穫物でした。)  
◎ ⑯ 辰 ②110万円超  
贈与税は、1人の人が1年間にもらった財産の合計額から基礎控除  
額の110万円を差し引いた残りの額に対してかかります。  
◎ ⑰ 巳 ①所得税  
明治20年に導入された所得税は、その当時、年間300円以上の所得が  
ある人が納める税金でした。当時の1円は現在の約2万円、所得税を納  
めることは「お金持ちの証拠」でも有名なことだったのです。
- ◎ ⑱ 午 ③平成31年10月1日  
「平成」は4月30日までで、翌5月1日から改元予定です。  
◎ ⑲ 未 ①103万円以下  
パートにより得る収入は通常給与所得となり、給与所得の金額は、  
年収から給与所得控除額を差し引いた残額です。給与所得控除額は  
最低65万円なので103万円以下(65万円+所得税の基礎控除38万)では  
かまいません。  
◎ ⑳ 申 ③8%  
対象品目は、酒類・外食を除く飲食物品と、定期購読契約に基づ  
く週回以上発行される新聞です。  
◎ ㉑ 酉 ②明治時代  
穀物で納められていた年貢に代え、「地租改正」を明治6(1873)年に実施し、  
土地の価値に基づきお金で課税を行うことで、歳入の安定化を図りました。  
◎ ㉒ 戌 ①相続税  
【雑居人伝】という古い書籍で、古くは那馬台国(卑弥呼が治めていた時代)  
に税の制度があったといわれています。(当時の租税は稲等の収穫物でした。)

表紙 << 新春対談 >> 題字：広報委員 井田智佐子 揮毫

■平成30年1月発行 ■発行人 広報委員会 委員長 木村雄二 ■発行所 公益社団法人上野野人会  
(〒110-0015 台東区東上野1-2-1 朝日信用金庫西町ビル5階 TEL5818-1151 FAX5818-1141)

＼まちに新鮮力！／



# 地元応援団

# 朝日。



街の鼓動に敏感です



朝日信用金庫

本店／東京都台東区台東2-8-2 本部／東京都千代田区東神田2-1-2